

品川区教育委員会会議記録

平成 26 年 第 12 回 定例会

場 所 教育委員室
期 日 平成 26 年 7 月 22 日
開 会 午前 10 時 00 分
閉 会 午前 11 時 44 分

出席委員	委 員 長	鈴木 敏夫
	委員長職務代理者	市川 信之助
	委 員	波多野 美佳
	委 員	菅谷 正美
	教 育 長	中島 豊
欠席委員		

出席職員	教 育 次 長	田村 信二
	庶務課長事務取扱	教育次長 田村 信二
	学 務 課 長	野呂瀬 久
	指 導 課 長	渋谷 正宏
	学校支援担当課長	村尾 勝利
	品川図書館長	中元 康子

議事運営 および 委員長、教育 長報告事項等	<ul style="list-style-type: none"> 署名委員に波多野委員、菅谷委員を指名。
---------------------------------	---

件名	<p>日程第1 協議事項</p> <p>平成27年度品川区立小学校等使用教科用図書の仮採択について（国語）</p>
担当課説明等	<p>（指導課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> 統括指導主事より説明する <p>（統括指導主事）</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>（委員B）</p> <ul style="list-style-type: none"> 品川区の小中一貫教育要領に即している教科書はあるのか。 <p>（委員E）</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統文化の単元に狂言の記載があるが、教科書に内容や紹介を記載することは必須なのか。 <p>（委員A）</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語の学習は、1年生の導入時期が大切であるとする。例えば、「あいうえお」の指導方法や説明の仕方、丁寧さなど、各社における特徴はどのようなものか。
事務局説明	<p>（統括指導主事）</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的にどの教科書も小中一貫教育要領に沿ったものとなっている。しかし、本区の児童の課題である「論理的に表現する」においては、B社、C社が、「論理的な文章を読む」においては、B社、C社、E社が良いとの意見が教科用図書調査検討委員会ではあった。また、「漢字指導」はD社、「読書指導」はB社、C社が小中一貫教育要領の趣旨により合っているとの意見があった。 学習指導要領では、「古典について解説した文章を読み、昔の人のものの見方や考えを知ること」と示されており、「狂言」そのものを載せることは求めている。「狂言」を紹介している教科書は、中学校への発展的な学習を意図しているものと思われる。 各社とも、1年生における入門期では、学校生活で必要とされているコミュニケーションや文字指導など、児童の発達段階に合わせ様々な工夫がされている。例えば、B社は、動物のイラストのインデックスを使用している。また、C社は、保健室や職員室など具体的な場面に合わせた挨拶を練習できる活動を設定している。
委員意見要旨	<p>（委員E）</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語の教科書には、作品がそのまま掲載されているため、「教科書を使用して教える」のではなく、「教科書を教える」という部分が他の教科と異なると思う。また、1年生の入門期は、幼稚園や保育園と異なり、学習をするという意味で重要な時期であるため、動物のイラストを教科書内に使用しているA社やB社は、指導していく上で違和感がある。 各社とも、1年生の教科書に「大きなかぶ」の作品が入っている。A社、B社、E社は、同様の翻訳であるのに対し、C社は、それとは異なる翻

	<p>訳がされており、繰り返しの言葉を並列させるなど、表現方法に工夫がされている。また、C社のイラストは、他社のイラストとは異なるものを使用するなど特徴的である。自分が指導する立場であれば、C社が全体の構成面などから合っていると感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で教わる作品は、将来的にもイメージが強く残るものだと思う。4年生の教科書に「ごんぎつね」の作品があるが、C社は、挿絵やイラストなど他社と異なっている点の特徴的である。共通の作品を取り上げている中で、C社は、自分の感性とも合致しており使用しやすい教科書に感じる。 <p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の選定にあたっては、小中一貫教育要領も念頭に置いて考える必要がある。E社は、図表やイラスト、写真などの情報を活用しながら問題解決を行っていく手法、B社、C社は、第一教材、第二教材を用意し、分量の少ない文章から多い文章を読んで理解を深めていく手法が特徴的である。特に、C社は、見開きで表しているため分かりやすい。 ・ 国語は、読書活動の単元も重要であり、単に作品を多く取り扱うのではなく、段階を踏んで学び方を学習させなくてはならない。その構成が上手くできているのはC社であり、教材の中で学習を進めていける工夫がされている。 <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各社とも、様々な工夫をしている。特にC社は、全体の構成が丁寧であり、親切心を感じる。また、コミュニケーションを学ぶ単元では、相手の気持ちを理解しながら学習できるような工夫がされている。一方、B社は、内容が多く詰まっている分、ポイントを絞りにくい印象があり、D社は、副読本が付いているが、子どもたちが紛失してしまうことも懸念される。 <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語は、作品の学習のみならず、伝統文化を学ぶことも大切である。C社は、中学校への関連学習として、能や狂言、歌舞伎などを紹介しており、内容が分かりやすい。 <p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 能や狂言などを通して、どのように子どもたちに伝統文化に対する興味を持たせていくかが課題である。また、グローバル化に伴い、日本の伝統文化を継承していくことは、更に重要になっていく。 <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ C社を推す意見が多い。C社で仮決定したい。 <p>(委員一同)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異議なし
議事結果	国語はC社に仮決定する。

<p>件名</p>	<p>日程第1 協議事項 平成27年度品川区立小学校等使用教科用図書の仮採択について（書写）</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>（指導課長） ・ 統括指導主事より説明する</p> <p>（統括指導主事） ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>（委員A） ・ A社の4年生の教科書では、「かご書き」「ほね書き」などの練習を紹介している。あまり耳にしない言葉だが、どのように指導していくのか。 ・ C社の教科書の版は、他社よりも大きいサイズであるが、授業を進めていく上で問題はないのか。</p> <p>（委員E） ・ 小学校における文字の書き順の重要度はどの程度か。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>（統括指導主事） ・ 「かご書き」「ほね書き」の指導方法は、一般的に「かご書き」は筆圧を、「ほね書き」は文字の形を意識させるためのものである。 ・ 書写の授業の際は、机の上に習字道具、半紙等を置くため、教科書のサイズが大きいと机からはみ出してしまうとの意見があった。 ・ 国語の授業においても文字の書き順の指導を行うが、文字を美しく書くという点で、書き順は非常に重要である。教科用図書調査検討委員会では、A社、B社が文字指導を行う前に、まず、書き順を学ばせるといふ工夫がされており、指導がしやすいとの意見があった。特にB社は、マスを4つに分けた「十字リーダー」を多用しており、書き順を大切にしている様子が伺える。</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>（委員D） ・ 文字の書き順と同時に、低学年には、どの場所から文字を書き始めるか指導していくことも大切である。B社は、マスを4つに分けた「十字リーダー」があり、文字の書き始めの場所をマス目で指導できるため、書きやすく分かりやすい印象を受ける。一方、C社やD社は、真っ白な練習用紙に書かせるケースが多いため、指導しにくい感じがする。</p> <p>（委員E） ・ 各社とも、様々な工夫がされており素晴らしい出来であるが、子どもたちの中には、視力が弱い子や色調を判断しにくい子がいると考えられる。最近の教科書は、鮮やかな教科書が多いが、書き順の表記について、赤色と青色を並列させて使用すると、色を識別しにくいと感じる。また、文字をなぞる薄い灰色の線については、小さい文字だと識別しにくいいため、この点も考慮したほうが良いと考える。B社は、巻末に良いお手本を綴じ込んでおり、見やすい印象を受ける。</p> <p>（委員A） ・ 色調を判断しにくい子は、小学生の段階では、自覚している子どもの他に潜在的な子どもも少なからずいると思う。この点についても、教科書を選定する上で考慮していくことが重要である。</p> <p>（委員D） ・ 1年生の最初の段階で、硬筆の授業では、手の置き場所など姿勢指導も</p>

大切である。B社、C社、F社は、その点を具体的に示しており、指導しやすい印象がある。E社については、鉛筆の持ち方の情報量が他社と比較して少ない感じがする。

(委員B)

- ・ B社については、次に繋がるヒントや工夫がされており分かりやすい。書写の教科書は、国語の教科書との関連性を考慮する必要があるのか。

(委員D)

- ・ 書写の教科書については、国語の教科書と切り離して単独で選定しても問題はない。同じ出版社の教科書であれば、指導がしやすい程度である。
- ・ 習字の授業では、大筆の指導は行いが、小筆の指導はあまり行わないため指導が難しい。この点からみると、E社は小筆の学習に力を入れている様子が伺える。どの出版社においても、小筆の学習指導について力を入れて頂くことを希望したい。

(委員E)

- ・ 小筆はあまり指導する時間がないため上手く書くことが難しい。習字では、半紙の横に自分の名前を書くことになるので、子どもたちが上手く書けるようになってほしい。

(委員B)

- ・ 現在、子どもたちが塾に通うように、昔は、習字教室に通っている子どもが多くいた。時代の流れもあるが、先生が指導していくことは非常に大変だと感じる。その中で、B社は、総合的にバランスもとれており、分かりやすく指導しやすい教科書だと感じる。

(委員A)

- ・ F社は、見本が大きくて見やすい。また、B社は、導入部分である鉛筆の持ち方や基本姿勢などが細かく記載されている。

(委員D)

- ・ A社、B社ともに非常に良く工夫された教科書であるが、全体的な構成やバランスを考慮するとB社が良いと考える。

(委員E)

- ・ B社を推す意見が多い。B社で仮決定したい。

(委員一同)

- ・ 異議なし

議事結果

書写はB社で仮決定する。

件名	日程第2 報告事項 「としょかんスタンプラリー」について
担当課説明等	(品川図書館長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(委員A) ・ スタンプラリーの対象に、小学生(保護者と一緒に)とあるが、保護者と一緒でなかった場合はどうするのか。 (委員E) ・ 小学生が一人でスタンプラリーに来た場合、スタンプは押してあげるのか。
事務局説明	(品川図書館長) ・ スタンプラリーは、7月19日から実施しており、直近の3連休では、小学生が一人でスタンプラリーに来ることはなく、保護者と一緒であった。スタンプラリー参加にあたっては、「保護者の方と一緒に回る」旨を説明する保護者宛ての文書を渡し、保護者の方に趣旨を説明している。仮に、小学生が一人で参加を申し出た場合も、保護者にこの文書を渡すようお願いすることとしている。 ・ 小学生が一人でスタンプラリーに来た場合でも、本を一冊以上借りていれば、スタンプを押してあげることにしている。しかし、他の区立図書館でスタンプを集める際は、保護者の方と一緒に行くよう、あわせてお願いをしていく。
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承